

委員会活動 報告書

中国本部防災委員会

事業名	広島市白木公民館 防災教育「自然災害と避難について～土砂災害・地震災害に備える～」
実施時期	2024年8月23日(木) 10:00～11:30
実施場所	広島市安佐北区白木公民館 3F ホール
参加者	広島市白木公民館地域 高齢者 25名 (講師)技術士会：青原
事業内容と感想	<p>広島市安佐北区白木公民館において、高齢者 25名を対象に、土砂災害、河川災害、地震災害について、「自然災害と避難について～土砂災害・地震災害に備える～」をテーマに、座学を中心に 90 分の講座を行った。</p> <p>白木公民館管轄地区は井原、志屋、高南、三田小学校区にまたがっており、三篠川に沿って約 5km の地区である。</p> <p>平成 30 年の西日本豪雨災害では、三篠川の氾濫により広域に浸水被害が発生したほか、鉄橋、橋梁、護岸の被害が大きく、被災時には橋梁の流出に伴う水道管の破断による断水が長期間続いた。</p> <p>講座の実施に際し、公民館からは以下の 2 点要望があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三篠川の復旧工事も進んでおり、住民は被災経験を忘れがちである。被災経験を忘れないような内容にしてほしい。 ・1 月 1 日に発生した能登半島地震は記憶に新しく、8 月には日向灘沖地震もあり、地震災害について解説をお願いしたい。 <p>以上の要望を受け、豪雨災害・河川災害については広島豪雨災害と西日本豪雨災害の被害を中心に動画を用いた内容とし、地震については地震発生メカニズムを説明するとともに、白木地区での発生が想定されている震度 5 強の地震の揺れについて動画を用いて警戒避難について解説した。</p> <p>1. 講座の内容</p> <p>1.1 土砂災害の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 広島豪雨災害 崖くずれの実態と被災者の体験談の解説。 ② 斜面崩壊動画の紹介 ③ 安佐南区梅林地区の土石流の発生状況と被災状況の説明。 ④ 土石流発生動画の紹介 ⑤ 平成 30 年西日本豪雨災害の概要 ⑥ 熊野町川角大原ハイツでの避難の体験談の紹介 <p>1.2 河川災害の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 平成 30 年西日本豪雨災害の説明 ② 三篠川流域の降水量と水位上昇の説明 ③ 三篠川流域の被害の説明 ④ 岡山県真備町小田川の氾濫 ⑤ 平成 27 年茨城県常総市鬼怒川の氾濫 ⑥ 西日本豪雨災害 広島県の被災状況動画 (RCC 放送ニュース) <p>1.3 地震災害の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 東日本大震災の概要 ② 津波発生の動画紹介 ③ 阪神淡路大震災、熊本地震、能登半島地震の概要と被災写真の紹介 ④ 広島県で発生する地震災害について説明 <p>1.4 警戒避難についての説明</p> <p>土砂災害は雨の降り方と密接な関係があり、降雨量と土砂災害発生の関係を説明した。避難情報は雨の降り方によって発令される。避難情報がでた場合には、速やかに対応する必要があることを説明した。自宅近くの避難場所、安全な避難経路を再確認してもらい、避難における心構えを説明した。</p> <p>白木地区では、南海トラフ地震、安芸灘地震により最大震度 5 強の地震が発生する恐れがあり、動画で震度 5 強相当の揺れを紹介し、地震が発生した時の身の守り方と室内の安全点検 (家具の固定や配置) について説明した。</p> <p>2. ハザードマップの確認とマイタイムラインの作成</p> <p>今回は時間が 90 分と短いこと、対象地域が広い範囲でありグループによる作業が難しいことからグループ単位のワークショップは実施せず、個々に A3 版のハザードマップとマイタイムライン用紙を配布して内容の説明を行い、帰宅後、家族でマイタイムラインを作成してもらうこととした。</p>

事業内容と
感想

3. 講座を受けた感想

- ・6年前に確かに目の当たりにした災害ではありますが、時の流れと共に記憶から遠ざかっていました。改めて恐ろしさを感じました。油断することなく、災害に対処しなければいけないと思いました。
- ・怖い話でしたが本気で考えなければいけないと思いました。いつ災害が起きてもよいように避難準備をしておこうと思います。
- ・災害の実態と怖さ、防災の大切さがよくわかりました。とても参考になりました。
- ・特にリアルな動画でみるとわかりやすかったです。
- ・映像等の説明が多くあり、わかりやすかった。地域に合った資料もいただき家庭での話題にします。
- ・現在住んでいる狭い地区のことを一緒にもっと知りたいです。
- ・今回の内容を活かさないといけないと思う。地域からの参加者が少ないのが残念。同じ講座を地域でも行っていただきたいと思う。
- ・避難の話は詳しくしてもらったが、防災への方針や方向の説明が無かった。

4. 講座を行った感想

白木地区は平成 30 年の西日本豪雨災害で三篠川の氾濫によって大きな被害が発生した地域である。今回の講座は、「過去の災害を忘れつつあるので、再び注意を喚起したい」の要望に沿って行った。

地域の範囲が広く、通常おこなっているハザードマップの確認とマイタイムラインの作成といった作業を行うことができず、参加した方にはやや消化不良の講座となった。

講座の後、2つの自治会から地区の人を集めた講座を開けないかとの依頼もあり、被災経験のある自治会への具体的な避難計画の作成に対する補助が必要だと感じた。



講習会全景